



クマとの遭遇を防ぐために

〇 身を守るための正しい知識と必要な対策

環境保全課生きもの係 ☎(63)2187

近年、全国的にツキノワグマの目撃情報が増えています。昨年は、鹿沼市内でもツキノワグマによる人身被害が発生しました。

もし、クマに遭遇してしまったら、私たちはどのように行動したらよいのでしょうか。また、クマを人の生活圏に引き寄せないようにするためのどのような対策をしたらよいのでしょうか。



4月に新設「生きもの係」とは

「環境保全課生きもの係」は、これまで林政課が行っていた野生鳥獣・特定外来生物の対応と、環境課が担っていた犬や猫などの業務をまとめ、生きものに関する幅広い分野を担当することになりました。

Point 01

クマの生態・習性を知ろう

本州最大の陸上哺乳類

体格は成獣では全長110～130cm、体重は40～135kg程度。本州の陸上哺乳類の中では最大の大きさです。運動能力が高く、人間より速く走ることができ、最高時速は50km/hにもなります。また、木登りが得意。イヌ並みに嗅覚が鋭いという一面もあります。

基本的に単独行動ですが、通常子グマは1歳半頃まで母グマと一緒にいます。

なわばりは持たず、個体同士の行動圏が重なることがあります。

また、基本的におとなしく警戒心が強い反面、学習能力が高く、慣れると行動が大胆化することがあります。



雑食で気に入った食べ物に執着

クマは雑食で、植物質や果実に偏っていますが、シカの死体なども食べる場合があります。

一度気に入った食べ物には強く執着。ごみを含む人間の出した食べ物に惹かれ人間の生活圏まで来てしまいます。クマを人間の生活圏に出没させないためには、人間の出す食べ物の味を覚えさせないようにすることが必要です。



Point 02

環境整備と管理でクマを引き寄せない

野生動物は一般的に人目に付く開放的な環境は好まず、樹林内や下草が繁茂した場所、藪などの身を隠せる環境を好む習性があります。

クマを市街地に引き寄せない環境にするため緩衝地域の藪の刈払いを実施しましょう。環境整備は一度きりではなく、刈払った環境を継続させるようにしましょう。

Point 03

身を守るために正しい知識と対策は

こまめに目撃情報を確認！

市公式ホームページでは、目撃があった日や目撃場所を落とし込んだマップを公開しています。



また、市LINE公式アカウントで「クマ出没アラート」を発信しています。「クマ出没アラート」は、クマの出没した位置情報を迅速に配信し、いち早く危険をお知らせする機能です。



クマの活動時期に注意！

活動が活発になる5月～11月は要注意です。昨年度、鹿沼市内では5月～12月にかけて23件の目撃情報が寄せられています。



クマと遭遇してしまったら

では、もしクマに遭遇してしまったら、どのように対処したらよいでしょうか。

○遠くにクマが見えたら

注意しながら静かにその場から立ち去りましょう。クマが先に人の存在に気付けば、ほとんどの場合クマの方から逃げていきます。もし、クマが人間の存在に気付いていない様子であれば、物音を立てて、クマに人間の存在を知らせましょう。

大声で騒いだり走って逃げたりすると、クマを刺激してしまい、クマが向かってくる可能性があります。

○近くでバッタリ会ったら

まず落ち着いて、可能ならゆっくりとクマと距離を取りましょう。人が背中を見せると、本能的に襲ってくることもあるため、顔を見ながら後ずさりしましょう。

大声で叫んだり、石などを投げつけてはいけません。攻撃されたと思ったクマが、反撃に出る可能性があります。

○クマが襲ってきたら

市販のクマ撃退スプレーを使用しましょう。それでも、突進するなど襲ってくるそぶりを見せたら、両手で首の後ろをガードしてうつ伏せしましょう。また、人間の急所である顔や喉、後頭部や腹を守りましょう。

クマに注意

防災気象情報
林野火災報告

窓口受付時間
市税等納付

都市計画
高齢者みまもり

エアコン
民生費
映像通報
かえる組

市民のひろば

フラッシュ

健康
みんなの健康

お知らせ

フォトコン
新卒者祝い金

狩猟免許取得等の補助があります

野生鳥獣の捕獲に従事する狩猟者を確保し、野生鳥獣による人的被害、農林水産物等への被害防止を図るため、免許取得等にかかる費用を支援します。

○狩猟免許取得（新規）

対象：免許取得に要した費用（上限1万円）

○猟銃等の購入（新規）

対象：猟銃等の購入に要した費用×1/2（上限10万円）

問い合わせ

環境保全課生きもの係 (63)2187



「緊急銃猟制度」にご理解とご協力を

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」が改正され、「緊急銃猟制度」が創設されました（令和7年9月1日施行）。次の4つの条件を満たした場合に、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等が可能になります。

- 1 クマやイノシシが人の日常生活圏に侵入している
- 2 クマやイノシシによる人への危害を防ぐために緊急に対応が必要
- 3 銃猟以外の方法では的確かつ迅速な捕獲等が困難
- 4 住民や第三者に銃猟による危害を及ぼすおそれがない

緊急銃猟を実施する場合は、安全に行うため実施地域にいる皆さんには通行禁止・制限、屋外または屋内避難をお願いすることがあります。

鹿沼市内でもクビアカの被害が深刻です

クビアカツヤカミキリ（通称：クビアカ）は、特定外来生物です。

近年、桜などのバラ科樹木に寄生し、樹木の内部を食い荒らし枯らしてしまうという被害が増えています。被害が深刻になると枝が落ちたり木が倒れたりする危険があるため、伐採する必要があります。



クビアカを見つけたら 可能な限り退治を！

成虫が発生する時期は、6月～8月末です。退治方法は、「たたいてつぶす、ジェット式の毛虫殺虫スプレーを使用する」などです。



被害の確認方法は！

サクラ、ウメ、モモ等の幹や枝に木くず（フラス）があったら要注意！幼虫が木の中を食べているサインです。

ご自宅などの樹木から木くずが出ていたら、環境保全課までご連絡ください。防除の仕方の説明と現地確認に職員が伺います。